

## 事後評価書（完了後の評価）

都道府県名	青森県	関係市町村	八戸市
事業名	水産物供給基盤整備事業（水産流通基盤整備事業）		
地区名	八戸	事業主体	青森県、八戸市

## I 基本事項

1. 地区概要			
漁港名（種別）	八戸漁港（特定第3種漁港）	漁場名	—
陸揚金額	10,766 百万円	陸揚量	37,268.0 トン
登録漁船隻数	174 隻	利用漁船隻数	712 隻
主な漁業種類	大中型まき網、沖合底びき網、いか釣り	主な魚種	まいわし、するめいか、さば類
漁業経営体数	102 経営体	組合員数	203 人
地区の特徴	<p>八戸漁港は、太平洋北部海域に面した八戸市に位置し、本漁港の近くには三陸沖の優良な漁場があることから、古くから漁業の中核的基地として栄えてきた。</p> <p>漁港区域は八戸港湾区域（重要港湾）と二重指定となっており、小中野地区、館鼻地区、鮫地区、恵比須浜地区の4地区に分かれ、それぞれの地区の漁業種類に応じた漁港整備が進められてきた。また、漁港背後には市場や水産加工施設等の整備、集積が進められ、東日本最大のイカ加工団地が形成されるなど、太平洋北部海域における水産業の拠点として地域経済を支える重要な漁港である。</p>		
2. 事業概要			
事業目的	<p>①良質な水産物を安全で効率的に供給する体制の整備 本地区は、陸揚岸壁の不足や漁港施設、流通機能施設の老朽化等による機能低下が生じており、円滑な漁業活動に支障を来していた。また、食の安全・安心に対する社会的なニーズの高まりに応えるための品質・衛生管理についても不十分であった。このため、漁港施設及び荷さばき所等の改良や新設等により、安全・安心な水産物の効率的な供給体制の構築を図る。</p> <p>②災害に強く安全で快適な漁業地域の形成 事業期間中に発生した東日本大震災の教訓を生かし、主要な陸揚岸壁等については、耐震・耐津波補強を行うとともに、荷さばき所の電源を2階に設置する等の対策に加え、想定される津波による被災時においても陸揚機能を早期に再開できる荷さばき所の配置とし、被災時の地域経済への影響を最小限に抑える。</p>		
主要工事計画	<p>外郭施設：内防波堤（改良）115m  水域施設：-3.0m泊地50,000㎡、-6.0m泊地21,000㎡、-4.0m泊地4,000㎡  係留施設：-4.5m岸壁（補修）476m、-6.0m岸壁（補修）490m、  -6.0m岸壁（改良）150m、-2.0m物揚場（補修）160m、  船揚場（改良）60m、-6.0m岸壁（補修）150m、  -6.0m岸壁（新設）239m、-5.0m岸壁（改良）270m  輸送施設：道路（改良）4脚、道路（補修）650m、道路（補修）480m、  道路（補修）1,250m、道路（新設）50m  漁港施設用地：用地護岸（補修）50m、漁港施設用地（簡易舗装）1,700㎡、  漁港施設用地（簡易舗装）3,000㎡  流通構造改革支援施設：荷さばき所A棟（新築）1棟（3,800㎡）、  荷さばき所B棟（増築・改修）1棟（6,800㎡）、  荷さばき所C棟（改修）1棟（9,000㎡）、  荷さばき所D棟（改築）1棟（6,400㎡）、  清浄海水導入施設1式、漁港浄化施設1式</p>		
事業費	18,215百万円	事業期間	平成14年度～令和2年度

## II 点検項目

1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化				
<p>本事業では、平成28年に期中の評価（再評価）を実施し、経済効果の妥当性について評価を行った。その際の分析の算定基礎となった登録漁船数、組合員数、漁獲量、漁獲金額については、漁業者の高齢化や海洋環境及び資源量の変動といった要因から減少しており、費用便益比率も平成28年の1.40から令和7年の1.01へと減少している。</p>				
2. 事業効果の発現状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施以前は陸揚岸壁が不足していたが、岸壁及び泊地の整備により、陸揚可能な岸壁延長が増え、まき網船の陸揚げ待機時間及び入札関係者の労働時間の削減が図られた。</li> <li>・老朽化した荷さばき所を閉鎖型に更新することで、労働環境が改善されるとともに、品質、衛生管理機能の向上による取扱水産物の競争力強化、輸出促進効果が期待される。また、荷さばき所の集約により効率的な流通体制の構築が図られた。</li> <li>・陸揚岸壁の耐震・耐津波化、橋脚の耐震化により、甚大な地震・津波が発生した場合も一定の漁業活動が継続されるとともに水産業の早期再開が可能となり、漁業者及び流通関連事業者の所得維持が図られた。また、地震等による損壊が防止されることで復旧費用の支出回避が図られた。</li> <li>・現時点での費用対効果分析の結果は1.0を上回っており、一定の効果発現が見られる。</li> </ul>				
3. 事業により整備された施設の管理状況				
<p>本事業により整備された施設は、管理者である青森県および八戸市が維持管理を行い、定期的に巡視し状況を確認している。事業完了から5年が経過しているが、現在までに施設の損傷は生じていない。</p>				
4. 事業実施による環境の変化				
<p>漁港浄化施設の整備により、まき網漁船の陸揚げ時に発生する血水等が適切に処理され、漁港内の水域環境の保全効果が見られた。</p>				
5. 社会経済情勢の変化				
<p>当該漁港における登録漁船隻数は平成28年には226隻であったが、漁業者の高齢化や組合員数減少等の要因により、令和5年には174隻に減少している。</p> <p>また、八戸漁港の主力魚種であるイカやサバの不漁が近年続いており、漁業経営が厳しい状況にある。</p>				
6. 今後の課題				
<p>本事業による陸揚岸壁不足が解消され、荷さばき所が整備・集約されたことにより、漁業活動の効率化、労働環境の改善が図られた。効果を長期的に持続させていくためには、施設の長寿命化対策と計画的な維持管理が重要である。</p>				
7. 事業の投資効果が十分見込まれたか				
平成28年評価時の 費用便益比 B/C	1.40	現時点の B/C	1.01	※別紙「費用対効果分析 集計表」のとおり

## III 総合評価

<p>本事業では、太平洋北部海域における水産業の拠点として地域経済を支える重要な漁港である八戸漁港において、外郭施設、水域施設、係留施設、輸送施設、漁港施設用地、荷さばき所等の整備を行った。</p> <p>その結果、陸揚岸壁不足の解消による陸揚げ待機時間の削減等、漁業活動の効率化が図られた。</p> <p>また、事業期間中には東日本大震災が発生し被災したため、主要な陸揚岸壁等については耐震・耐津波補強等を行い、被災時においても漁港・市場機能の早期再開を可能とした。</p> <p>さらに、荷さばき所は閉鎖型に整備、集約することにより、品質、衛生管理機能の向上、労働環境の改善及び効率的な流通体制の構築が図られた。</p> <p>貨幣化が可能な効果について、費用対効果分析を行ったところ、費用便益比は1.0を超えており、経済効果についても確認されている。</p> <p>以上の結果から、本事業は当該地区において漁業経営の安定及び地域経済の振興へ寄与したものとされており、想定した事業効果の発現が認められる。</p>
--

## 費用対効果分析集計表

## 1 基本情報

都道府県名	青森県	地区名	八戸
事業名	水産流通基盤整備事業	施設の耐用年数	漁港施設：50年 荷さばき所：38年

## 2 評価項目

便益の評価項目及び便益額	評価項目		便益額（現在価値化）	
	便益の評価項目及び便益額	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	10,256,361
②漁獲機会の増大効果			1,722,493	千円
③漁獲可能資源の維持・培養効果				千円
④漁獲物付加価値化の効果			22,830,907	千円
漁業就業環境の向上		⑤漁業就業者の労働環境改善効果	2,340,659	千円
生活環境の向上		⑥生活環境の改善効果		千円
地域産業の活性化		⑦漁業外産業への効果	8,488,002	千円
非常時・緊急時の対処		⑧生命・財産保全・防御効果	1,245,401	千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
自然保全・文化の継承		⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
その他		⑬施設利用者の利便性向上効果		千円
		⑭その他		千円
計（総便益額）		B	46,883,822	千円
総費用額（現在価値化）		C	46,475,442	千円
費用便益比		B / C	1.01	

## 3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

漁港浄化処理施設整備に伴う港内水質改善効果



事業主体:青森県、八戸市  
主要工事計画:外郭施設:内防波堤(改良)115m  
水域施設:−6.0m泊地(浚渫)21,000 m<sup>2</sup> ほか2施設  
係留施設:−6.0m岸壁(耐震化・大水深化)389m ほか7施設  
輸送施設:道路(補修)480m(橋脚耐震化4基含む) ほか4施設  
漁港施設用地:用地舗装 3,000m<sup>2</sup> ほか2施設  
流通構造改善支援施設:荷さばき所4棟 ほか2施設  
事業費:18,215百万円  
事業期間:平成14年度～令和2年度

小中野地区

主要工事計画  
(青森県)

⑤-3.0m泊地A=50,000m<sup>2</sup>、⑩-5.0m岸壁L=270m

⑳道路L=50m、㉒用地護岸L=50m

(八戸市)

㉔荷さばき所D棟N=1棟

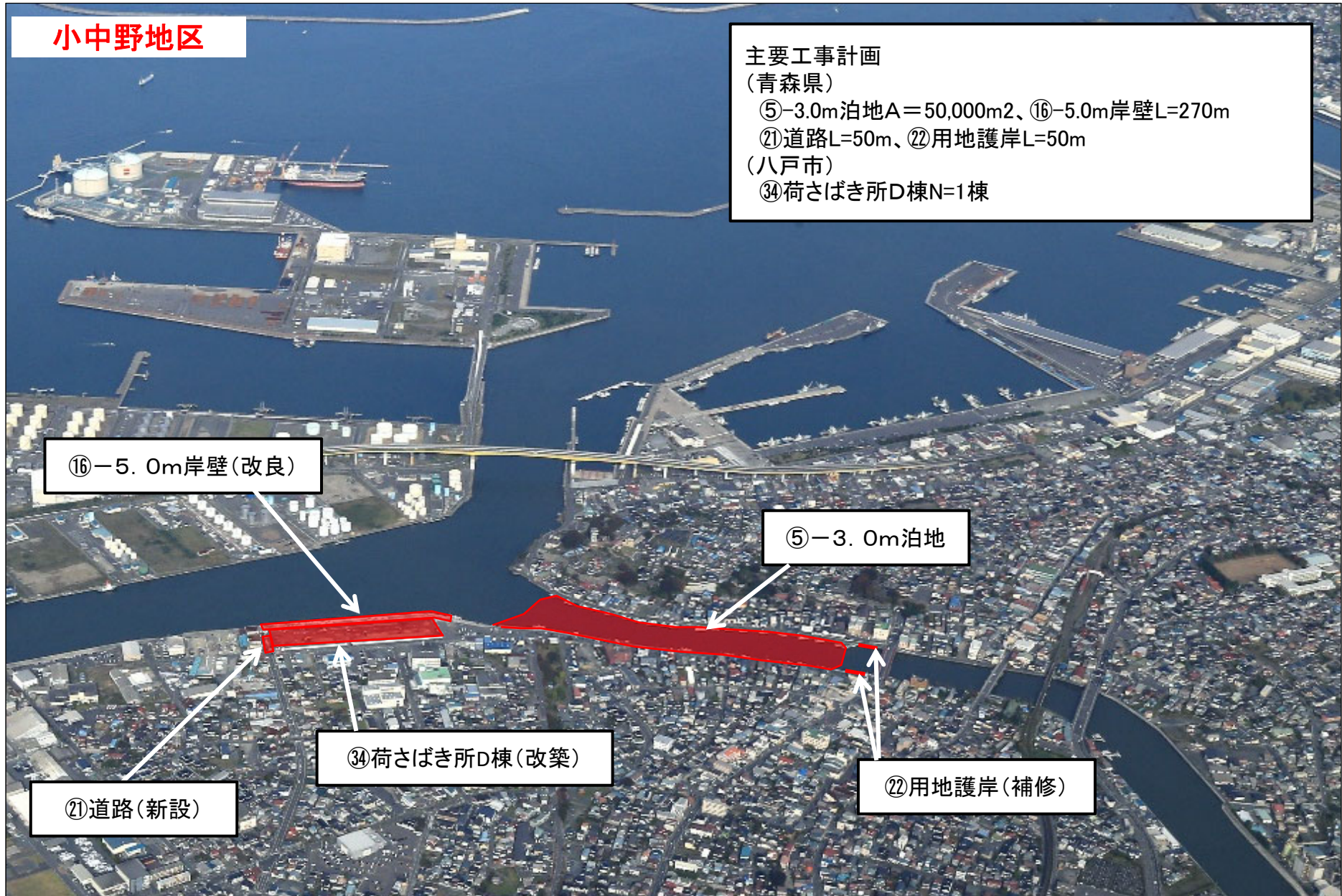
⑩-5.0m岸壁(改良)

⑤-3.0m泊地

⑳道路(新設)

㉔荷さばき所D棟(改築)

㉒用地護岸(補修)



館鼻地区



主要工事計画

(青森県)

- ⑦-4.0m泊地A=4,000m<sup>2</sup>、⑧-4.5m岸壁L=476m、⑨-6.0m岸壁L=490m
- ⑩-6.0m岸壁L=150m、⑫-2.0m物揚場L=160m、⑬船揚場L=60m
- ⑰道路N=4脚、⑱道路L=650m、⑲道路L=480m、㉓用地A=1,700m<sup>2</sup>

(八戸市)

- ⑳荷さばき所A棟N=1棟、㉑荷さばき所B棟N=1棟、
- ㉒荷さばき所C棟N=1棟、㉔清浄海水導入施設、㉕漁港浄化施設

㉓用地(舗装)

⑬船揚場(改良)

⑦-4.0m泊地

⑧-4.5m岸壁(補修)

㉑荷さばき所A棟(新築)  
㉔清浄海水導入施設  
㉕漁港浄化施設

㉒荷さばき所C棟(改修)

⑩-6.0m岸壁(改良)

⑨-6.0m岸壁(補修)

⑫-2.0m物揚場(補修)

⑰道路(改良)

㉑荷さばき所B棟(改修)

⑱道路(補修)

⑲道路(補修)

鮫地区



①内防波堤(改良)

⑭-6.0m岸壁(補修)

⑳道路(補修)

⑥-6.0m泊地

⑮-6.0m岸壁(新設)

主要工事計画

(青森県)

①内防波堤L=115m、⑥-6.0m泊地A=21,000m<sup>2</sup>、

⑭-6.0m岸壁L=150m、⑮-6.0m岸壁L=239m、

⑳道路L=1,250m

恵比須浜地区

㊾用地(舗装)

主要工事計画  
(青森県)  
㊾用地A=3,000m<sup>2</sup>



ハチハ 八戸地区 水産流通基盤整備事業の効用に関する説明資料

1. 事業概要

- (1) 事業目的
- : ①良質な水産物を安全で効率的に供給する体制の整備  
 本地区は、陸揚岸壁の不足や漁港施設、流通機能施設の老朽化等による機能低下が生じており、円滑な漁業活動に支障を来していた。また、食の安全・安心に対する社会的なニーズの高まりに応えるための品質・衛生管理についても不十分であった。このため、漁港施設及び荷さばき所等の改良や新設等により、安全・安心な水産物の効率的な供給体制の構築を図る。
- ②災害に強く安全で快適な漁業地域の形成  
 事業期間中に発生した東日本大震災の教訓を生かし、主要な陸揚岸壁等については、耐震・耐津波補強を行うとともに、荷さばき所の電源を2階に設置する等の対策に加え、想定される津波による被災時においても陸揚機能を早期に再開できる荷さばき所の配置とし、被災時の地域経済への影響を最小限に抑える。
- (2) 主要工事計画
- : 外郭施設：内防波堤(改良)115m  
 水域施設：-3.0m泊地50,000㎡、-6.0m泊地21,000㎡、-4.0m泊地4,000㎡  
 係留施設：-4.5m岸壁(補修)476m、-6.0m岸壁(補修)490m、  
 -6.0m岸壁(改良)150m、-2.0m物揚場(補修)160m、  
 船揚場(改良)60m、-6.0m岸壁(補修)150m、  
 -6.0m岸壁(新設)239m、-5.0m岸壁(改良)270m  
 輸送施設：道路(改良)4脚、道路(補修)650m、道路(補修)480m、  
 道路(補修)1,250m、道路(新設)50m  
 漁港施設用地：用地護岸(補修)50m、漁港施設用地(簡易舗装)1,700㎡、  
 漁港施設用地(簡易舗装)3,000㎡  
 流通構造改革支援施設：荷さばき所A棟(新築)1棟(3,800㎡)、  
 荷さばき所B棟(増築・改修)1棟(6,800㎡)、  
 荷さばき所C棟(改修)1棟(9,000㎡)、  
 荷さばき所D棟(改築)1棟(6,400㎡)、  
 清浄海水導入施設1式、漁港浄化施設1式
- (3) 事業費
- : 18,510百万円
- (4) 工期
- : 平成14年度～令和2年度

## 2. 総費用便益比の算定

## (1) 総費用総便益比の総括

「水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン」(令和7年6月改訂 水産庁)及び同「参考資料」(令和7年6月改訂 水産庁)等に基づき算定

区分	算定式	数値
総費用(現在価値化)	①	46,475,442 (千円)
総便益額(現在価値化)	②	46,883,822 (千円)
総費用総便益比	②÷①	1.01

## (2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費(千円)	
		事業主体:青森県	事業主体:八戸市
1. 漁港施設関係			
① 内防波堤(改良)	(鮫地区)	L=115m	48,643
⑤ -3.0m泊地	(小中野地区)	A=50,000m <sup>2</sup>	807,920
⑥ -6.0m泊地	(鮫地区)	A=21,000m <sup>2</sup>	232,081
⑦ -4.0m泊地	(館鼻地区)	A=4,000m <sup>2</sup>	55,610
⑧ -4.5m岸壁(補修)	(館鼻地区)	L=476m	222,217
⑨ -6.0m岸壁(補修)	(館鼻地区)	L=490m	3,217,575
⑩ -6.0m岸壁(改良)	(館鼻地区)	L=150m	32,222
⑫ -2.0m物揚場(補修)	(館鼻地区)	L=160m	242,178
⑬ 船揚場(改良)	(館鼻地区)	L=60m	313,148
⑭ -6.0m岸壁(補修)	(鮫地区)	L=150m	541,500
⑮ -6.0m岸壁(新設)	(鮫地区)	L=239m	877,570
⑯ -5.0m岸壁(改良)	(小中野地区)	L=270m	1,355,061
⑰ 道路(改良)	(館鼻地区)	N=4脚	281,900
⑱ 道路(補修)	(館鼻地区)	L=650m	146,966
⑲ 道路(補修)	(館鼻地区)	L=480m	1,335,745
⑳ 道路(補修)	(鮫地区)	L=1,250m	106,315
㉑ 道路(新設)	(小中野地区)	L=50m	19,980
㉒ 用地護岸(補修)	(小中野地区)	L=50m	130,000
㉓ 漁港施設用地(簡易舗装)	(館鼻地区)	A=1,700m <sup>2</sup>	7,980
㉔ 漁港施設用地(簡易舗装)	(恵比須浜地区)	A=3,000m <sup>2</sup>	24,577
㉕ 荷さばき所A棟(新築)	(館鼻地区)	N=1棟(A=3,800m <sup>2</sup> )	928,592
㉖ 荷さばき所B棟(増築・改修)	(館鼻地区)	N=1棟(A=6,800m <sup>2</sup> )	1,531,439
㉗ 荷さばき所C棟(改修)	(館鼻地区)	N=1棟(A=9,000m <sup>2</sup> )	2,443,388
㉘ 荷さばき所D棟(改築)	(小中野地区)	N=1棟(A=6,400m <sup>2</sup> )	3,487,620
㉙ 清浄海水導入施設	(館鼻地区)	1式	88,547
㉚ 漁港浄化施設	(館鼻地区)	1式	31,400
小計			9,999,188
合計			18,510,174
維持管理費等			948,184
総費用(消費税込み)			19,458,358
うち、消費税額			1,242,079
総費用(消費税抜)			18,216,279
現在価値化後の総費用(消費税抜)			46,475,442

## (3) 年間標準便益

効果項目	区分	年間標準便益額 (千円)	効果の要因
水産物生産コストの削減効果		222,651	<ul style="list-style-type: none"> <li>・-4.5m岸壁の補修による出漁準備作業時間の削減</li> <li>・-3.0m泊地浚渫による漁船の耐用年数の延長</li> <li>・岸壁の大水深化により同時陸揚げ隻数が増大することによる陸揚げ待機時間の削減</li> <li>・同時陸揚げ隻数の増大による入札関係者の労働時間削減</li> <li>・漁港区域内道路補修による配送時間の削減</li> <li>・用地補償により天日加工場としての利用が可能となることによる作業時間の削減</li> <li>・船揚場の整備による漁船維持管理・修理に要する移動時間および修理費の削減</li> <li>・陸揚機能存続による代替市場陸揚のためのコスト増大の回避</li> <li>・陸揚機能存続による代替市場への陸送のためのコスト増大の回避</li> <li>・陸揚機能存続による代替市場からの買受け業者輸送のためのコスト増大の回避</li> </ul>
漁獲機会の増大効果		65,219	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震化岸壁整備による漁業生産の維持効果（漁業所得の維持）</li> </ul>
漁獲物付加価値化の効果		781,793	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理環境の向上による魚価安定化効果</li> </ul>
漁業就業者の労働環境改善効果		69,185	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静穏度向上による労働環境の改善</li> <li>・荷さばき所増築・改修による労働環境の改善</li> </ul>
漁業外産業への効果		217,119	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路補修による車両通過時間の短縮</li> </ul>
生命・財産保全・防御効果		47,155	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震化岸壁整備による災害復旧費の回避</li> </ul>
計		1,403,122	

(4) 費用及び便益の現在価値算定表

評価期間	年度	割引率 ①	デフレ レータ ②	費用 (千円)			便益 (千円)									
				事業費 (維持管理 費含む) ③	事業費 税抜額	現在価値 (維持管理 費含む) ①×②×③	水産物の生 産性向上	漁業就業環 境の向上	生活環境 の向上	地域産業 の活性化	非常時・緊 急時の対処	自然保全、 文化の継承	その他	計	現在価値 (千円) ①×④	
														④		
-23	H14	2.465	1.728	820,000	780,953	3,326,485	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-22	H15	2.370	1.763	700,000	666,667	2,785,541	50,629	0	0	34,685	0	0	0	85,314	202,194	
-21	H16	2.279	1.766	540,000	514,286	2,069,854	82,640	0	0	34,685	0	0	0	117,325	267,384	
-20	H17	2.191	1.764	350,000	333,334	1,288,311	115,609	0	0	34,685	0	0	0	150,294	329,294	
-19	H18	2.107	1.730	440,000	419,048	1,527,476	153,773	0	0	34,685	0	0	0	188,458	397,081	
-18	H19	2.026	1.745	410,000	390,477	1,380,481	177,138	1,142	0	34,685	0	0	0	212,965	431,467	
-17	H20	1.948	1.742	588,000	560,001	1,900,316	179,209	20,390	0	35,704	81	0	0	235,384	458,528	
-16	H21	1.873	1.635	1,749,658	1,666,342	5,102,931	182,394	22,535	0	75,536	81	0	0	280,546	525,463	
-15	H22	1.801	1.572	241,207	229,722	650,382	321,994	30,876	0	99,317	365	0	0	452,552	815,046	
-14	H23	1.732	1.630	628,546	598,616	1,689,989	323,774	30,964	0	125,324	459	0	0	480,521	832,263	
-13	H24	1.665	1.573	1,275,909	1,215,153	3,182,540	339,222	31,453	0	153,922	903	0	0	525,500	874,958	
-12	H25	1.601	1.579	1,304,437	1,242,322	3,140,564	430,968	36,649	0	166,177	3,241	0	0	637,035	1,019,893	
-11	H26	1.539	1.510	2,027,975	1,877,756	4,363,698	457,012	36,782	0	166,177	16,297	0	0	676,268	1,040,777	
-10	H27	1.480	1.484	2,093,132	1,938,087	4,256,659	570,831	41,474	0	175,031	26,693	0	0	814,029	1,204,762	
-9	H28	1.423	1.484	581,346	538,286	1,136,716	723,377	50,046	0	183,000	30,996	0	0	987,419	1,405,097	
-8	H29	1.369	1.446	1,517,854	1,405,422	2,782,137	732,482	50,326	0	217,119	33,482	0	0	1,033,409	1,414,736	
-7	H30	1.316	1.401	1,806,782	1,672,947	3,084,439	804,630	53,865	0	217,119	42,192	0	0	1,117,806	1,471,032	
-6	R1	1.265	1.363	1,208,171	1,098,339	1,893,751	930,306	60,928	0	217,119	46,909	0	0	1,255,262	1,587,906	
-5	R2	1.217	1.342	335,386	304,897	497,962	1,039,343	67,384	0	217,119	47,155	0	0	1,371,001	1,668,508	
-4	R3	1.170	1.295	14,672	13,339	20,211	1,068,794	69,185	0	217,119	46,526	0	0	1,401,624	1,639,899	
-3	R4	1.125	1.191	16,789	15,263	20,451	1,067,844	69,185	0	217,119	45,906	0	0	1,400,054	1,575,060	
-2	R5	1.082	1.070	16,285	14,805	17,140	1,066,905	69,185	0	217,119	45,294	0	0	1,398,503	1,513,180	
-1	R6	1.040	1.000	7,817	7,107	7,391	1,065,980	69,185	0	217,119	44,690	0	0	1,396,974	1,452,852	
0	R7	1.000	1.000	13,891	12,629	12,629	1,065,067	69,185	0	217,119	44,094	0	0	1,395,465	1,395,465	
1	R8	0.962	1.000	13,891	12,629	12,149	1,064,167	69,185	0	217,119	43,506	0	0	1,393,977	1,341,005	
2	R9	0.925	1.000	13,891	12,629	11,682	1,063,278	69,185	0	217,119	42,926	0	0	1,392,508	1,288,069	
3	R10	0.889	1.000	13,891	12,629	11,227	1,062,401	69,185	0	217,119	42,353	0	0	1,391,058	1,236,650	
4	R11	0.855	1.000	13,891	12,629	10,798	1,061,536	69,185	0	217,119	41,789	0	0	1,389,629	1,188,132	
5	R12	0.822	1.000	13,891	12,629	10,381	1,060,681	69,185	0	217,119	41,232	0	0	1,388,217	1,141,114	
6	R13	0.790	1.000	13,891	12,629	9,977	1,059,839	69,185	0	217,119	40,682	0	0	1,386,825	1,095,591	
7	R14	0.760	1.000	13,891	12,629	9,598	1,059,007	69,185	0	217,119	40,139	0	0	1,385,450	1,052,942	
8	R15	0.731	1.000	13,891	12,629	9,232	1,058,187	69,185	0	217,119	39,604	0	0	1,384,095	1,011,773	
9	R16	0.703	1.000	13,891	12,629	8,878	1,057,379	69,185	0	217,119	39,076	0	0	1,382,759	972,079	
10	R17	0.676	1.000	13,891	12,629	8,537	1,056,580	69,185	0	217,119	38,555	0	0	1,381,439	933,852	
11	R18	0.650	1.000	13,891	12,629	8,209	1,055,792	69,185	0	217,119	38,041	0	0	1,380,137	897,089	
12	R19	0.625	1.000	13,891	12,629	7,893	1,055,015	69,185	0	217,119	37,534	0	0	1,378,853	861,783	
13	R20	0.601	1.000	13,891	12,629	7,590	1,054,249	69,185	0	217,119	37,033	0	0	1,377,586	827,929	
14	R21	0.577	1.000	13,891	12,629	7,287	1,053,493	69,185	0	217,119	36,540	0	0	1,376,337	794,146	
15	R22	0.555	1.000	13,891	12,629	6,994	1,052,745	69,185	0	217,119	36,052	0	0	1,375,101	763,181	
16	R23	0.534	1.000	13,891	12,629	6,744	1,052,010	69,185	0	217,119	35,572	0	0	1,373,886	733,655	
17	R24	0.513	1.000	13,891	12,629	6,479	1,051,283	69,185	0	217,119	35,097	0	0	1,372,684	704,187	
18	R25	0.494	1.000	13,891	12,629	6,239	1,050,566	69,185	0	217,119	34,629	0	0	1,371,499	677,520	
19	R26	0.475	1.000	13,891	12,629	5,999	1,049,858	69,185	0	217,119	34,168	0	0	1,370,330	650,907	
20	R27	0.456	1.000	13,891	12,629	5,759	1,049,150	69,185	0	217,119	33,712	0	0	1,369,166	623,870	
21	R28	0.439	1.000	13,891	12,629	5,544	1,048,443	69,185	0	217,119	33,263	0	0	1,368,000	597,180	
22	R29	0.422	1.000	13,891	12,629	5,329	1,047,736	69,185	0	217,119	32,819	0	0	1,366,839	573,865	
23	R30	0.406	1.000	13,891	12,629	5,127	1,047,029	69,185	0	217,119	32,382	0	0	1,365,683	549,943	
24	R31	0.390	1.000	13,891	12,629	4,925	1,046,322	69,185	0	217,119	31,950	0	0	1,364,532	526,111	
25	R32	0.375	1.000	13,891	12,629	4,736	1,045,615	69,185	0	217,119	31,524	0	0	1,363,386	502,180	
26	R33	0.361	1.000	13,891	12,629	4,559	1,044,908	69,185	0	217,119	31,103	0	0	1,362,245	478,149	
27	R34	0.347	1.000	13,891	12,629	4,382	1,044,201	69,185	0	217,119	30,689	0	0	1,361,109	454,118	
28	R35	0.333	1.000	13,891	12,629	4,205	1,043,494	69,185	0	217,119	30,280	0	0	1,360,000	430,087	
29	R36	0.321	1.000	13,891	12,629	4,054	1,042,787	69,185	0	217,119	29,876	0	0	1,358,900	406,056	
30	R37	0.308	1.000	13,891	12,629	3,925	1,042,080	69,185	0	217,119	29,472	0	0	1,357,800	382,025	
31	R38	0.296	1.000	13,891	12,629	3,738	1,041,373	69,185	0	217,119	29,078	0	0	1,356,700	358,000	
32	R39	0.285	1.000	13,891	12,629	3,599	1,040,666	69,185	0	217,119	28,697	0	0	1,355,600	334,000	
33	R40	0.274	1.000	13,891	12,629	3,460	1,040,000	69,185	0	217,119	28,316	0	0	1,354,500	310,000	
34	R41	0.264	1.000	13,891	12,629	3,321	1,039,334	69,185	0	217,119	27,935	0	0	1,353,400	286,000	
35	R42	0.253	1.000	13,891	12,629	3,182	1,038,668	69,185	0	217,119	27,554	0	0	1,352,300	262,000	
36	R43	0.244	1.000	13,891	12,629	3,043	1,038,002	69,185	0	217,119	27,173	0	0	1,351,200	238,000	
37	R44	0.234	1.000	13,891	12,629	2,904	1,037,336	69,185	0	217,119	26,792	0	0	1,350,100	214,000	
38	R45	0.225	1.000	13,891	12,629	2,765	1,036,670	69,185	0	217,119	26,411	0	0	1,349,000	190,000	
39	R46	0.217	1.000	13,891	12,629	2,626	1,036,004	69,185	0	217,119	26,030	0	0	1,347,900	166,000	
40	R47	0.208	1.000	13,891	12,629	2,487	1,035,338	69,185	0	217,119	25,649	0	0	1,346,800	142,000	
41	R48	0.200	1.000	13,891	12,629	2,348	1,034,672	69,185	0	217,119	25,268	0	0	1,345,700	118,000	
42	R49	0.193	1.000	13,891	12,629	2,209	1,034,006	69,185	0	217,119	24,887	0	0	1,344,600	94,000	
43	R50	0.185	1.000	13,891	12,629	2,070	1,033,340	69,185	0	217,119	24,506	0	0	1,343,500	70,000	
44	R51	0.178	1.000	13,891	12,629	1,931	1,032,674	69,185	0	217,119	24,125	0	0	1,342,400	46,000	
45	R52	0.171	1.000	13,891	12,629	1,792	1,032,008	69,185	0	217,119	23,744	0	0	1,341,300	22,000	
46	R53	0.165	1.000	13,891	12,629	1,653	1,031,342	69,185	0	217,119	23,363	0	0	1,340,200	0	
計				19,458,358	18,216,279	46,475,442			計					46,883,822		

※評価期間は、便益対象施設が複数ある場合、各施設の整備毎に効果が発生するものとして算定

3. 効果額の算定方法

(八戸漁港(外郭施設、水域施設、係留施設、輸送施設、漁港施設用地))

水産物の生産性向上

①水産物生産コストの削減効果

1-1 -4.5m岸壁の補修による出漁準備作業時間の削減(館鼻地区)

当該岸壁は100トン未満の小型いか釣り漁船の準備作業岸壁として使用している。整備前は作業用地が狭く、漁具置場と通路(道路)の分離が不可能であると共に車両の回転も出来ないため、作業効率が悪く多くの作業時間を費やしている。  
老朽化対策、段差や穴ぼこが解消されたことにより、車両の回転が容易になることや、円滑な係留が可能となり作業効率が改善する。

区分			備考
対象漁船隻数(隻)	①	10	調査日:令和7年8月19日 調査場所:八戸みなと漁業協同組合 調査対象者:八戸みなと漁業協同組合職員 調査実施者:青森県 三八農林水産事務所 八戸水産事務所 調査実施方法:ヒアリング調査
作業人数(人/隻)	②	3	
作業日数(日/年)	③	90	
作業時間(時間/日)	整備前 ④	3.5	
	整備後 ⑤	2.5	
労務単価(円/時間) 漁船漁業3t未満-20t未満	⑥	2,365	令和5年漁業経営調査報告(令和6年9月)を基に算定
年間便益額(千円/年)		6,386	$① \times ② \times ③ \times (④ - ⑤) \times ⑥ / 1000$

1-2 -3.0m泊地浚渫による漁船の耐用年数の延長(小中野地区)

当該浚渫区域は小型いか釣り漁船、小型底引き網漁船等の休けい泊地として利用されている。当該水域は河川内にあることから流下土砂の堆積が多く、漁船係留に必要な水深が不足しており、干潮時の高波浪時、強風時などでは漁船の動揺により船底が海底に接触し塗装の剥離などが報告されている。また出入港時には海底への接触により舵のききが悪くなるなど危険な状況等も報告されている。

-3.0m泊地浚渫により上記の海底への接触がなくなり漁船の耐用年数が改善される。

区分			備考
対象漁船隻数(隻)	①	52	調査日:令和7年8月19日 調査場所:八戸みなと漁業協同組合 調査対象者:八戸みなと漁業協同組合職員 調査実施者:青森県 三八農林水産事務所 八戸水産事務所 調査実施方法:ヒアリング調査
小型いか釣り漁船		32	
小型底引き網		1	
たらのほえ縄船		2	
ほつき桁網船		9	
小型作業船		8	
漁船の耐用年数(年)	②	7	減価償却資産の耐用年数等に関する省令(財務省)のFRP船より算定
漁船の耐用年数の延長(年)	③	3.17	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料-(令和7年6月)p4
FRP船トあたり建造費(千円/トン)	④	4,700	造船造機統計調査(国土交通省)の令和元年1月~令和5年12月までの5ヶ年間の100t未満FRP船漁船トンあたり建造費より算定
対象漁船の平均トン数(トン/隻)	⑤	15	漁協ヒアリング
GDPデフレーター	令和5年 ⑥	107.1	内閣府経済社会総合研究所(令和6年度)より算定、令和7年GDPデフレーターは令和6年の数値を準用
	令和7年 ⑦	110.2	
年間便益額(千円/年)		167,967	$(1/② - 1/(②+③)) \times ④ \times (⑦/⑥) \times (① \times ⑤)$

1-3 岸壁の大水深化に伴う陸揚げ待機時間の削減(鮫地区・館鼻地区)

大中型まき網漁船は主に鮫地区を陸揚げ漁港として利用している。近年の漁船の大型化により、陸揚げ岸壁の水深が不足し、-4.0m及び-5.0m岸壁の利用率が大幅に低下している。その反面、-6.0m以上の岸壁の利用率が高まり、陸揚げ岸壁の不足による陸揚げ時間の延長、陸揚げ待機時間の長期化が恒常化している。

鮫地区における岸壁及び泊地水深が深くなることと、館鼻地区に陸揚げ用-6.0m岸壁を150m確保することにより200ト以上のまき網運搬船の陸揚げ待機時間が減少する。

区分			備考
対象漁船隻数(隻)	①	6	調査日:令和7年8月19日 調査場所:東北旋網漁業協同組合青森支所 調査対象者:東北旋網漁業協同組合青森支所職員 調査実施者:青森県 三八農林水産事務所 八戸水産事務所 調査実施方法:ヒアリング調査
平均待ち時間(時間/隻)	②	3	
作業人数(人/隻)	③	15	
盛漁期の陸揚げ日数(日/年)	④	10	
待機隻数(隻)	整備前 ⑤	4	同時陸揚げ隻数=(-6.0m岸壁150m)/(73.2m/隻)=2.05隻≒2隻 対象漁船隻数6隻-同時陸揚げ隻数2隻=4隻 ※漁船の横付延長(73.2m)は水産土木設計積算資料(青森県農林水産部)より500ト漁船
	整備後 ⑥	1	同時陸揚げ隻数=(-6.0m岸壁239m)+(-6.0m岸壁150m)/(73.2m/隻)=5.31隻≒5隻 対象漁船隻数6隻-同時陸揚げ隻数5隻=1隻 ※漁船の横付延長(73.2m)は水産土木設計積算資料(青森県農林水産部)より500ト漁船
労務単価(円/時間) 漁船漁業100t以上	⑦	3,658	令和5年漁業経営調査報告(令和6年9月)を基に算定
年間便益額(千円/年)		4,938	$② \times (⑤ - ⑥) \times ③ \times ④ \times ⑦ / 1000$

3. 効果額の算定方法 (八戸漁港(外郭施設、水域施設、係留施設、輸送施設、漁港施設用地))

1-4 同時陸揚げ隻数の増大による入札関係者の労働時間削減(鮫地区・館鼻地区)

まき網漁船は主に鮫地区を陸揚漁港として利用しており、まき網漁船からの陸揚げは毎朝7:00からの入札後に開始され、陸揚終了後、新たな運搬船が着くたびに入札が行われている。  
 これまでは、全ての漁獲物が陸揚げされるまで約8時間(15:00頃まで)程度かかっており入札関係者は陸揚げが終了するまでそこで待機していなければならない。  
 鮫地区の水深確保と館鼻地区での陸揚げバース確保の整備により全ての陸揚げが終了するまでに約3時間(10:00頃まで)程度に短縮することが可能となり入札時間も短縮され、入札関係者の労働時間が削減される。

区分			備考
入札関係者数(人)	①	40	調査日:令和7年8月19日
入札日数(日/年)	②	40	調査場所:株式会社八戸魚市場
入札時間(時間)	整備前	③	8.0
	整備後	④	3.0
労務単価(円/時間) 一般利用者		⑤	1,822
			毎月勤労統計調査(地方調査)令和5年度分結果確報(厚生労働省)を基に算定
年間便益額(千円/年)		14,576	$① \times ② \times (③ - ④) \times ⑤ / 1000$

1-5 漁港区域内道路補修による配送時間の削減(鮫地区)

漁獲物や漁具等を車両で運搬する際に、路面の傷みが激しいため低速での走行を強いられている。路面補修により、円滑な走行が確保され、走行時間の短縮が期待できる。

区分			備考
通行量(台/日)	①	20	調査日:令和7年8月19日
通過時間短縮時間(時間) 3分	②	0.050	調査場所:株式会社八戸魚市場
年間利用日数(日/年)	③	50	調査対象者:株式会社八戸魚市場社員
1台あたり乗車人数(人/台)	④	2	調査実施者:青森県 三八農林水産事務所 八戸水産事務所
通行回数(回/日)	⑤	5	調査実施方法:ヒアリング調査
時間価値(円/時間)	⑥	2,365	令和5年漁業経営調査報告(令和6年9月)を基に算定
年間便益額(千円/年)		1,183	$① \times ② \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ / 1000$

1-6 用地舗装により天日加工場としての利用が可能となることによる作業時間の削減(恵比須浜地区)

現在の天日加工作業状況は、水揚げした昆布を岸壁から軽トラックに積み込み、自宅及び自宅周辺の道路まで持ち帰り、荷降ろしを行いながら天日加工作業を行っている。また刺し網の乾燥のための天日干し作業についても同様の作業が行われている。  
 陸揚岸壁背後にある未舗装の漁港用地を舗装することにより、駄昆布(養殖)の天日加工場及び網干し作業用地としての利用が可能となり、現在行っている軽トラックへの積み込み作業及び運搬作業が削減される、また天日加工作業(昆布広げ、干し作業)についても労力が軽減される。

区分			備考
漁業経営体数(経営体)	①	3	調査日:令和7年8月19日 調査場所:八戸鮫浦漁業協同組合 調査対象者:八戸鮫浦漁業協同組合職員 調査実施者:青森県 三八農林水産事務所 八戸水産事務所 調査実施方法:ヒアリング調査
労務単価(円/時間) 漁船漁業3t未満-20t未満	②	2,365	令和5年漁業経営調査報告(令和6年9月)を基に算定
網干作業(刺し網)			漁協ヒアリング*
網干作業日数(日/年)	③	200	
出漁人数(人/日)	④	3	
輸送時間(時間)	整備前	⑤	0.05
	整備後	⑥	0
作業時間(時間/日)	整備前	⑦	8.0
	整備後	⑧	4.5
昆布採取作業			漁協ヒアリング*
出漁日数(日/年)	⑨	3	
出漁人数(人/日)	⑩	3	
輸送時間(時間)	整備前	⑪	0.05
	整備後	⑫	0
積み込み、降ろし(時間)	整備前	⑬	1
	整備後	⑭	0
干し作業時間(時間)	整備前	⑮	2
	整備後	⑯	1
年間便益額(千円/年)		15,243	
網干作業(刺し網)		15,112	$① \times ③ \times ④ \times ((⑤ - ⑥) + (⑦ - ⑧)) \times ② / 1000$
昆布採取作業		131	$① \times ⑨ \times ⑩ \times ((⑪ - ⑫) + (⑬ - ⑭) + (⑮ - ⑯)) \times ② / 1000$

3. 効果額の算定方法 (八戸漁港(外郭施設、水域施設、係留施設、輸送施設、漁港施設用地))

1-7 船揚場の整備による漁船維持管理・修理に要する移動時間および修理費の削減(館鼻地区)

八戸港湾区域に存在する八戸漁連ドックにおいて漁船の修理、定期点検等を行っているが、ドック施設が平成17年10月で廃止となり、5~20tの漁船については八戸漁港に上架できる船揚場がないことから、上架可能な施設を有する三沢漁港など当漁港以外での作業を余儀なくされることとなった。

-4.0m泊地及び船揚場の整備により修理点検を必要とする5~20tの漁船が上架可能となり、移動に要する時間及び経費が削減される。

区分		備考
対象漁船隻数(隻)	①	95 調査日: 令和7年8月19日 調査場所: 八戸みなと漁業協同組合 調査対象者: 八戸みなと漁業協同組合職員 調査実施者: 青森県 三八農林水産事務所 八戸水産事務所 調査実施方法: ヒアリング調査
労働時間削減(移動時間の短縮)		漁協ヒアリング
漁船移動時間(時間/片道)	整備前 ②	1.5 八戸漁港から三沢漁港 片道1.5時間≒11漕/8ノット
	整備後 ③	0.3 八戸漁港内移動 片道0.3時間≒2漕/8ノット
修理点検回数(回/年)	④	2
作業人数(人/回)	⑤	1
労務単価(円/時間) 漁業漁船3t未満-20t未満	⑥	2,365 令和5年漁業経営調査報告(令和6年9月)を基に算定
燃料削減(移動経費の削減)		漁協ヒアリング
漁船燃費(L/回・片道)	整備前 ⑦	150 片道0.2L/kw・h×500kw×1.5h
	整備後 ⑧	30 片道0.2L/kw・h×500kw×0.3h
修理点検回数(回/年)	⑨	2
重油単価(円/L)	⑩	95.2 青森県単価(令和7年7月1日以降適用)重油: 免税額2,800円/kLは差し引く 98.0円/L - 2800/1000円/kL
年間便益額(千円/年)		5,419 合計
労働時間削減(移動時間の短縮)		1,078 ①×(②-③)×④×⑤×⑥/1000
燃料削減(移動経費の削減)		4,341 ①×(⑦-⑧)×⑨×⑩/1000

1-8 陸揚機能存続による代替市場陸揚のためのコスト増大の回避(小中野地区・館鼻地区)

本事業では、小中野地区及び館鼻地区の荷さばき施設の陸揚岸壁を更新し、東日本大震災クラスのL2地震・津波に対応した耐震・耐津波対策を行い、八戸漁港の陸揚機能が永続的に存続可能な整備を行った。

当該対策を行わない場合、八戸漁港の陸揚機能が存続できなくなり、八戸漁港以外に陸揚場所が移ることが想定される。その際のコスト増大分を、本事業により回避できる便益額として算定する。

八戸漁港で陸揚ができなくなった場合、大型漁船漁業は代替市場(久慈港:水深の深い岸壁を有する最寄港を想定)に陸揚に向かうと考えられ、その場合の航行距離の増大に伴う漁船燃料の増大、漁船航行時間増大分をコスト増大分として算定した。

大型漁船漁業の中でも、漁場がはるか遠方の大型・中型いか釣り、遠洋底曳網などは、航行距離の差を見いだすのは不自然なため差は0とし便益計上の対象から除外し、ほぼ日帰り操業をしている大中小型まき網、沖合底曳網、さんま棒受網の増大分を計上する。

区分		備考
陸揚げ漁船の平均トン数(t)	①	
沖合底引網	150	調査日: 令和7年8月19日 調査場所: 八戸機船漁業協同組合 調査対象者: 八戸機船漁業協同組合職員 調査実施者: 青森県 三八農林水産事務所 八戸水産事務所 調査実施方法: ヒアリング調査
大中小型まき網	300	調査日: 令和7年8月19日 調査場所: 東北旋網漁業協同組合青森支所 調査対象者: 東北旋網漁業協同組合青森支所職員 調査実施者: 青森県 三八農林水産事務所 八戸水産事務所 調査実施方法: ヒアリング調査
1漁労体あたり乗組員数(人/体)	②	漁協ヒアリング
沖合底引網	15	
大中小型まき網	40	
延べ陸揚げ隻数(隻)	③	市場水揚げ記録(令和3年~令和6年平均)
沖合底引網	999	
大中小型まき網	173	
漁船航行速度(km/hr)	④	漁協ヒアリング
沖合底引網	23.2	12~13ノット、12.5ノット×1.852km/hr≒23.2km/hr
大中小型まき網	19.5	10~11ノット、10.5ノット×1.852km/hr≒19.5km/hr
漁船燃費性能(L/km)	⑤	給油実績・漁場位置等の聞き取りを基に算定
沖合底引網	53.55	7500L/延べ150km航行/150t船=0.357L/km/t 0.357L/km/t×①
大中小型まき網	80.10	12000L/延べ150km航行/300t船=0.267L/km/t 0.267L/km/t×①
漁船燃油価格(円/L)	⑥	95.2 青森県単価(令和7年7月1日以降適用)重油: 免税額2,800円/kLは差し引く 98.0円/L - 2800/1000円/kL
航行1kmあたり燃料費(円/km)	⑦	⑤×⑥
沖合底引網	5,098	
大中小型まき網	7,626	
八戸前漁場の離岸距離(km)	⑧	漁協ヒアリング
沖合底引網	25	
大中小型まき網	16	

3. 効果額の算定方法

(八戸漁港(外郭施設、水域施設、係留施設、輸送施設、漁港施設用地))

久慈港までの増大航行距離 (km)	⑨		⑧の海上からの直線距離を地図上で測定
沖合底引網		25	
大中型まき網		54	
久慈港までの増大航行時間 (hr)	⑩		⑨/④
沖合底引網		1.08	
大中型まき網		2.77	
労務単価 (円/時間) 漁業漁船100t以上	⑪	3,658	令和5年漁業経営調査報告(令和6年9月)を基に算定
延べ増大漁船航行距離 (km)	⑫		③×⑨×2往復
沖合底引網		49,950	
大中型まき網		18,684	
増大漁船燃料費 (千円/年)	⑬		⑦×⑫/1000
沖合底引網		254,645	
大中型まき網		142,484	
延べ増大漁船航行時間 (人・hr)	⑭		②×③×⑩
沖合底引網		16,184	
大中型まき網		19,168	
航行時間の増大に伴う労務コストの増分 (千円/年)	⑮		⑪×⑭/1000
沖合底引網		59,201	
大中型まき網		70,117	
陸揚港変更による増大コスト-年間便益額 (千円/年)		526,447	⑬+⑮
沖合底引網		313,846	
大中型まき網		212,601	
震災発生確率(t=1)	⑯	0.01133	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料-(令和7年6月)p38より、 $(1/75-1/500) \times (74/75)^{t-1}$ 整備前: レベル1地震動対応岸壁として、再現期間75年 整備後: レベル2地震動対応岸壁として、再現期間500年
供用初年度の年間便益額 (千円/年)		5,966	(⑬+⑮) × ⑯

1-9 陸揚機能存続による代替市場への陸送のためのコスト増大の回避 (小中野地区・館鼻地区)

1-8と同様の状況想定の中で、漁場がより八戸漁港に近い沿岸で操業する漁業については、他市場へ直接陸揚するよりは、陸送搬送の方が一般的であるため、現状、八戸漁港に陸揚したのちに、販売場所に運搬している。八戸漁港の陸揚機能が存続不能となった場合、沿岸の小型漁船等が、漁獲物を販売するために代替市場(三沢漁港市場を想定)に陸送する場合の陸送燃料の増大、陸送時間の増大、積み降し時間の増大、鮮度保持のための水費を本事業により回避できる便益額として算定する。

区分			備考
陸揚げ漁船の平均トン数 (t)	①		水揚日誌・漁船台帳
小型底曳網	小型漁船漁業	15	
ホッキ桁網	小型漁船漁業	4	
小型いか釣	小型漁船漁業	10	
小型まき網	小型漁船漁業	19	
さけ定置網	小型漁船漁業	19	
その他の漁業	小型漁船漁業	4	
陸送搬入	小型漁船漁業	1	
年間市場取扱量 (t)	②		市場水揚げ記録(令和3年~令和6年平均)
小型底曳網	小型漁船漁業	196	
ホッキ桁網	小型漁船漁業	118	
小型いか釣	小型漁船漁業	303	
小型まき網	小型漁船漁業	182	
さけ定置網	小型漁船漁業	1,051	
その他の漁業	小型漁船漁業	840	
陸送搬入	小型漁船漁業	227	
陸送必要車両数 (4t換算) (台/年)	③		②/(4×0.65) (4t車で平均積載率65%として算定)
小型底曳網	小型漁船漁業	75	
ホッキ桁網	小型漁船漁業	45	
小型いか釣	小型漁船漁業	117	
小型まき網	小型漁船漁業	70	
さけ定置網	小型漁船漁業	404	
その他の漁業	小型漁船漁業	323	
陸送搬入	小型漁船漁業	87	
運搬所要人数 (人/台)	④	1.00	調査日: 令和7年8月19日 調査場所: 株式会社八戸魚市場 調査対象者: 株式会社八戸魚市場社員 調査実施者: 青森県 三八農林水産事務所 八戸水産事務所 調査実施方法: ヒアリング調査
積み降ろし人員 (人/台)	⑤	2.00	魚市場関係者ヒアリング
三沢漁港との陸送往復距離 (km)	⑥	40.00	道路地図より算出
陸送速度 (km/hr)	⑦	35.00	制限速度50km/hrで信号停車等を考慮
三沢漁港との往復陸送時間 (hr)	⑧	1.1	⑥/⑦
車両 (4t車) 燃費性能 (km/L)	⑨	4.00	魚市場関係者ヒアリング 4t車3.5~4.5km/L
運搬車燃油価格 (円/L)	⑩	99.00	青森県単価(令和7年7月1日以降適用)軽油

3. 効果額の算定方法

(八戸漁港(外郭施設、水域施設、係留施設、輸送施設、漁港施設用地))

三沢漁港までの陸送走行経費 (円/km)	⑪	23.90	時間価値原単位及び走行経費原単位(国土交通省道路局、令和6年データ)より算定 小型貨物 平地部35km/hr走行 23.91×110.2(令和7年GDPデータ)/110.2(令和6年GDPデータ)
車両との積み降ろし時間 (hr/台)	⑫	1.00	魚市場関係者ヒアリング*
労務単価 (円/時間) 漁業漁船3t未満-20t未満	⑬	2,365	令和5年漁業経営調査報告(令和6年9月)を基に算定
延べ増大陸送距離 (km)	⑭		③×⑥
小型底曳網	小型漁船漁業	3,000	
ホッキ栢網	小型漁船漁業	1,800	
小型いか釣	小型漁船漁業	4,680	
小型まき網	小型漁船漁業	2,800	
さけ定置網	小型漁船漁業	16,160	
その他の漁業	小型漁船漁業	12,920	
陸送搬入	小型漁船漁業	3,480	
増大陸送燃料費 (千円/年)	⑮		⑪×⑭/1000
小型底曳網	小型漁船漁業	72	
ホッキ栢網	小型漁船漁業	43	
小型いか釣	小型漁船漁業	112	
小型まき網	小型漁船漁業	67	
さけ定置網	小型漁船漁業	386	
その他の漁業	小型漁船漁業	309	
陸送搬入	小型漁船漁業	83	
延べ増大陸送時間 (人・hr)	⑯		③×④×⑧
小型底曳網	小型漁船漁業	83	
ホッキ栢網	小型漁船漁業	50	
小型いか釣	小型漁船漁業	129	
小型まき網	小型漁船漁業	77	
さけ定置網	小型漁船漁業	444	
その他の漁業	小型漁船漁業	355	
陸送搬入	小型漁船漁業	96	
増大陸送時間コスト (千円/年)	⑰		⑬×⑯/1000
小型底曳網	小型漁船漁業	196	
ホッキ栢網	小型漁船漁業	118	
小型いか釣	小型漁船漁業	305	
小型まき網	小型漁船漁業	182	
さけ定置網	小型漁船漁業	1,050	
その他の漁業	小型漁船漁業	840	
陸送搬入	小型漁船漁業	227	
延べ増大積み降ろし時間 (人・hr)	⑱		③×⑤×⑫
小型底曳網	小型漁船漁業	150	
ホッキ栢網	小型漁船漁業	90	
小型いか釣	小型漁船漁業	234	
小型まき網	小型漁船漁業	140	
さけ定置網	小型漁船漁業	808	
その他の漁業	小型漁船漁業	646	
陸送搬入	小型漁船漁業	174	
増大積み降ろし時間コスト (千円/年)	⑲		⑬×⑱/1000
小型底曳網	小型漁船漁業	355	
ホッキ栢網	小型漁船漁業	213	
小型いか釣	小型漁船漁業	553	
小型まき網	小型漁船漁業	331	
さけ定置網	小型漁船漁業	1,911	
その他の漁業	小型漁船漁業	1,528	
陸送搬入	小型漁船漁業	412	
運搬時鮮度保持用水使用量 (%)	⑳		魚市場関係者ヒアリング*
小型底曳網	小型漁船漁業	12%	
ホッキ栢網	小型漁船漁業	0%	
小型いか釣	小型漁船漁業	12%	
小型まき網	小型漁船漁業	12%	
さけ定置網	小型漁船漁業	12%	
その他の漁業	小型漁船漁業	12%	
陸送搬入	小型漁船漁業	12%	
増大鮮度保持用水使用量 (t)	㉑		②×㉑
小型底曳網	小型漁船漁業	24	
ホッキ栢網	小型漁船漁業	0	
小型いか釣	小型漁船漁業	36	
小型まき網	小型漁船漁業	22	
さけ定置網	小型漁船漁業	126	
その他の漁業	小型漁船漁業	101	
陸送搬入	小型漁船漁業	27	

3. 効果額の算定方法

(八戸漁港(外郭施設、水域施設、係留施設、輸送施設、漁港施設用地))

氷価格(円)	②	13,500	魚市場関係者ヒアリング
増大鮮度保持用水費(千円/年)	③		②×②/1000
小型底曳網	小型漁船漁業	324	
ホッキ栢網	小型漁船漁業	0	
小型いか釣	小型漁船漁業	486	
小型まき網	小型漁船漁業	297	
さけ定置網	小型漁船漁業	1,701	
その他の漁業	小型漁船漁業	1,364	
陸送搬入	小型漁船漁業	365	
陸送のための増大コスト-年間便益額(千円/年)		13,830	⑮+⑰+⑱+㉓
小型底曳網	小型漁船漁業	947	
ホッキ栢網	小型漁船漁業	374	
小型いか釣	小型漁船漁業	1,456	
小型まき網	小型漁船漁業	877	
さけ定置網	小型漁船漁業	5,048	
その他の漁業	小型漁船漁業	4,041	
陸送搬入	小型漁船漁業	1,087	
震災発生確率(t=1)	④	0.01133	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料-(令和7年6月)p38より、 (1/75-1/500)×(74/75) <sup>t-1</sup> 整備前:レベル1地震動対応岸壁として、再現期間75年 整備後:レベル2地震動対応岸壁として、再現期間500年
供用初年度の年間便益額(千円/年)		157	(⑮+⑰+⑱+㉓)×④

1-10 陸揚機能存続による代替市場からの買受け業者輸送のためのコスト増大の回避(小中野地区・館鼻地区)

前述と同様の状況想定の中で、買受け業者が被る不便を貨幣化する方法として、久慈市場や三沢漁港で販売されることになった水産物を、自社に運搬するのに要するコストが便益となる。

仮に、八戸で販売されなくなれば、買受け業者の多くは、出荷作業場や加工場を買受け地付近に移転させていくと考えられるが、その際に要する新たな施設整備費や地区の雇用縮小状況を算定するのは困難である。そのためここでは、最寄り市場からの運搬としてコストを算定することにより、過大な結果にならないように配慮した。

八戸漁港で陸揚ができなくなった場合、八戸市内を拠点とする買受け業者が代替市場(久慈市場及び三沢漁港市場を想定)に買付けに行く場合の陸送燃料の増大、陸送時間の増大、鮮度保持のための水費を本事業により回避できる便益額として算定する。

※ 現在、八戸の買受け業者が買い受けているもののうち、地元の加工業者や冷凍業者あるいは小売りに回らず、地域外に出荷される水産物もある。そうした水産物は代替市場を本拠地とする業者が買受け、八戸に戻さず地域外に出荷することで、コスト増大は回避され则认为される。そのため、はちのへの水産(2025)より、イカの地元外出荷割合48.5%を大型・中型いか釣から、またサバの地元外出荷割合18.0%を大中小型まき網から、スケトウダラの地元外出荷割合15.9%を大型・沖合底曳網の取扱量から除外した量を買付け量として、算定値が過大にならないようにする。

区分			備考
年間市場取扱量(t)	①		市場水揚げ記録(令和3年~令和6年平均)
大型底曳網	大型漁船漁業	1,384	
沖合底曳網	大型漁船漁業	7,763	
大中型いか釣	大型漁船漁業	4,141	
大中型まき網	大型漁船漁業	17,312	
さんま棒受網	大型漁船漁業	14	
小型底曳網	小型漁船漁業	196	
ホッキ栢網	小型漁船漁業	118	
小型いか釣	小型漁船漁業	303	
小型まき網	小型漁船漁業	182	
さけ定置網	小型漁船漁業	1,051	
その他の漁業	小型漁船漁業	840	
陸送搬入	小型漁船漁業	227	
市内業者買受け比率(%)	②		はちのへの水産(2025)より
大型底曳網	大型漁船漁業	84.1%	100-15.9=84.1
沖合底曳網	大型漁船漁業	84.1%	100-15.9=84.1
大中型いか釣	大型漁船漁業	51.5%	100-48.5=51.5
大中型まき網	大型漁船漁業	82.0%	100-18.0=82.0
さんま棒受網	大型漁船漁業	100.0%	
小型底曳網	小型漁船漁業	100.0%	
ホッキ栢網	小型漁船漁業	100.0%	
小型いか釣	小型漁船漁業	51.5%	100-48.5=51.5
小型まき網	小型漁船漁業	100.0%	
さけ定置網	小型漁船漁業	100.0%	
その他の漁業	小型漁船漁業	100.0%	
陸送搬入	小型漁船漁業	100.0%	

3. 効果額の算定方法

(八戸漁港(外郭施設、水域施設、係留施設、輸送施設、漁港施設用地))

市内業者買受け量 (t)	③		①×②
大型底曳網	大型漁船漁業	1,164	
沖合底曳網	大型漁船漁業	6,529	
大中型いか釣	大型漁船漁業	2,133	
大中型まき網	大型漁船漁業	14,196	
さんま棒受網	大型漁船漁業	14	
小型底曳網	小型漁船漁業	196	
ホッキ桁網	小型漁船漁業	118	
小型いか釣	小型漁船漁業	156	
小型まき網	小型漁船漁業	182	
さけ定置網	小型漁船漁業	1,051	
その他の漁業	小型漁船漁業	840	
陸送搬入	小型漁船漁業	227	
陸送必要車両数 (10t車換算) (台/年)	④		③/(10×0.75) (10t車で平均積載率75%として算定)
大型底曳網	大型漁船漁業	155	
沖合底曳網	大型漁船漁業	871	
大中型いか釣	大型漁船漁業	284	
大中型まき網	大型漁船漁業	1,893	
さんま棒受網	大型漁船漁業	2	
小型底曳網	小型漁船漁業	26	
ホッキ桁網	小型漁船漁業	16	
小型いか釣	小型漁船漁業	21	
小型まき網	小型漁船漁業	24	
さけ定置網	小型漁船漁業	140	
その他の漁業	小型漁船漁業	112	
陸送搬入	小型漁船漁業	30	
運搬所要人員 (人/台)	⑤	1	調査日: 令和7年8月19日 調査場所: 株式会社八戸魚市場 調査対象者: 株式会社八戸魚市場社員 調査実施者: 青森県 三八農林水産事務所 八戸水産事務所 調査実施方法: ヒアリング調査
往復陸送距離 (km)	⑥		道路地図より算出
八戸市場-久慈市場	大型漁船漁業	100	
八戸市場-三沢市場	小型漁船漁業	40	
陸送速度 (km/hr)	⑦	35	制限速度50km/hrで信号停車等を考慮
往復陸送時間 (hr)	⑧		⑥/⑦
八戸市場-久慈市場	大型漁船漁業	2.9	
八戸市場-三沢市場	小型漁船漁業	1.1	
車両 (10t車) 燃費性能 (km/L)	⑨	2.50	魚市場関係者ヒアリング 10t車2~3km/L
運搬車燃油価格 (円/L)	⑩	99.0	青森県単価(令和7年7月1日以降適用)軽油
陸送走行経費 (円/km)	⑪	48.6	時間価値原単位及び走行経費原単位(国土交通省道路局、令和6年データ)より算定 普通貨物 平地部35km/hr走行 48.64×110.2(令和7年GDP <sup>デ</sup> フレータ) /110.2 (令和6年GDP <sup>デ</sup> フレータ)
労務単価 (円/時間) 一般利用者	⑫	1,822	毎月勤労統計調査(地方調査)令和5年度分結果確報(厚生労働省)を基に算定
延べ増大陸送距離 (km)	⑬		④×⑥
大型底曳網	大型漁船漁業	15,500	
沖合底曳網	大型漁船漁業	87,100	
大中型いか釣	大型漁船漁業	28,400	
大中型まき網	大型漁船漁業	189,300	
さんま棒受網	大型漁船漁業	200	
小型底曳網	小型漁船漁業	1,040	
ホッキ桁網	小型漁船漁業	640	
小型いか釣	小型漁船漁業	840	
小型まき網	小型漁船漁業	960	
さけ定置網	小型漁船漁業	5,600	
その他の漁業	小型漁船漁業	4,480	
陸送搬入	小型漁船漁業	1,200	

3. 効果額の算定方法

(八戸漁港(外郭施設、水域施設、係留施設、輸送施設、漁港施設用地))

増大陸送燃料費(千円/年)		⑭		⑪×⑬/1000
大型底曳網	大型漁船漁業		753	
沖合底曳網	大型漁船漁業		4,233	
大中型いか釣	大型漁船漁業		1,380	
大中型まき網	大型漁船漁業		9,200	
さんま棒受網	大型漁船漁業		10	
小型底曳網	小型漁船漁業		51	
ホッキ桁網	小型漁船漁業		31	
小型いか釣	小型漁船漁業		41	
小型まき網	小型漁船漁業		47	
さけ定置網	小型漁船漁業		272	
その他の漁業	小型漁船漁業		218	
陸送搬入	小型漁船漁業		58	
延べ増大陸送時間(人・hr)		⑮		④×⑤×⑧
大型底曳網	大型漁船漁業		450	
沖合底曳網	大型漁船漁業		2,526	
大中型いか釣	大型漁船漁業		824	
大中型まき網	大型漁船漁業		5,490	
さんま棒受網	大型漁船漁業		6	
小型底曳網	小型漁船漁業		29	
ホッキ桁網	小型漁船漁業		18	
小型いか釣	小型漁船漁業		23	
小型まき網	小型漁船漁業		26	
さけ定置網	小型漁船漁業		154	
その他の漁業	小型漁船漁業		123	
陸送搬入	小型漁船漁業		33	
増大陸送時間コスト(千円/年)		⑯		⑫×⑮/1000
大型底曳網	大型漁船漁業		820	
沖合底曳網	大型漁船漁業		4,602	
大中型いか釣	大型漁船漁業		1,501	
大中型まき網	大型漁船漁業		10,003	
さんま棒受網	大型漁船漁業		11	
小型底曳網	小型漁船漁業		53	
ホッキ桁網	小型漁船漁業		33	
小型いか釣	小型漁船漁業		42	
小型まき網	小型漁船漁業		47	
さけ定置網	小型漁船漁業		281	
その他の漁業	小型漁船漁業		224	
陸送搬入	小型漁船漁業		60	
運搬時鮮度保持用氷使用量(%)		⑰		魚市場関係者ヒアリング*
大型底曳網	大型漁船漁業		0%	
沖合底曳網	大型漁船漁業		12%	
大中型いか釣	大型漁船漁業		0%	
大中型まき網	大型漁船漁業		12%	
さんま棒受網	大型漁船漁業		12%	
小型底曳網	小型漁船漁業		12%	
ホッキ桁網	小型漁船漁業		0%	
小型いか釣	小型漁船漁業		12%	
小型まき網	小型漁船漁業		12%	
さけ定置網	小型漁船漁業		12%	
その他の漁業	小型漁船漁業		12%	
陸送搬入	小型漁船漁業		12%	
増大鮮度保持用氷使用量(t)		⑱		③×⑰/100
大型底曳網	大型漁船漁業		0	
沖合底曳網	大型漁船漁業		783	
大中型いか釣	大型漁船漁業		0	
大中型まき網	大型漁船漁業		1,704	
さんま棒受網	大型漁船漁業		2	
小型底曳網	小型漁船漁業		24	
ホッキ桁網	小型漁船漁業		0	
小型いか釣	小型漁船漁業		19	
小型まき網	小型漁船漁業		22	
さけ定置網	小型漁船漁業		126	
その他の漁業	小型漁船漁業		101	
陸送搬入	小型漁船漁業		27	

## 3. 効果額の算定方法

(八戸漁港(外郭施設、水域施設、係留施設、輸送施設、漁港施設用地))

氷価格(円)	⑱	13,500	魚市場関係者ヒアリング*
増大鮮度保持用水費(千円/年)	⑳		⑱×⑱/1000
大型底曳網	大型漁船漁業	0	
沖合底曳網	大型漁船漁業	10,571	
大中型いか釣	大型漁船漁業	0	
大中型まき網	大型漁船漁業	23,004	
さんま棒受網	大型漁船漁業	27	
小型底曳網	小型漁船漁業	324	
ホッキ桁網	小型漁船漁業	0	
小型いか釣	小型漁船漁業	257	
小型まき網	小型漁船漁業	297	
さけ定置網	小型漁船漁業	1,701	
その他の漁業	小型漁船漁業	1,364	
陸送搬入	小型漁船漁業	365	
輸送のための増大コスト-年間便益額(千円/年)		71,881	⑭+⑯+⑳
大型底曳網	大型漁船漁業	1,573	
沖合底曳網	大型漁船漁業	19,406	
大中型いか釣	大型漁船漁業	2,881	
大中型まき網	大型漁船漁業	42,207	
さんま棒受網	大型漁船漁業	48	
小型底曳網	小型漁船漁業	428	
ホッキ桁網	小型漁船漁業	64	
小型いか釣	小型漁船漁業	340	
小型まき網	小型漁船漁業	391	
さけ定置網	小型漁船漁業	2,254	
その他の漁業	小型漁船漁業	1,806	
陸送搬入	小型漁船漁業	483	
震災発生確率(t=1)	㉑	0.01133	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料-(令和7年6月)p38より、 $(1/75-1/500) \times (74/75)^{t-1}$ 整備前: レベル1地震動対応岸壁として、再現期間75年 整備後: レベル2地震動対応岸壁として、再現期間500年
供用初年度の年間便益額(千円/年)		815	(⑭+⑯+⑳)×㉑

3. 効果額の算定方法

(八戸漁港(外郭施設、水域施設、係留施設、輸送施設、漁港施設用地))

②漁獲機会の増大効果

2-1 耐震化岸壁整備による漁業生産の維持効果(漁業所得の維持)(小中野地区・館鼻地区)

甚大な地震災害が発生した場合、本漁港の漁港施設への被害によって、漁業活動の継続が困難になることから、これら水産業の影響を最小限に抑えることが必要となる。陸揚岸壁の耐震強化整備を実施することにより、大規模地震発生後においても、一定の漁業活動が継続され、漁業所得を維持することが可能となる。

当該係留施設の整備により、地震による被災後も漁業活動を継続することが可能となることから、当該施設を利用した漁船操業により、回避可能な漁業所得額を便益として計上する。震災後、当該係留施設を利用して操業する漁業経営体は、耐震強化され被災を免れた岸壁において利用調整等を図ったうえで操業することになるため、震災前に比べ非効率となることが想定される。このことから本漁港における震災後の漁業所得額は、属地陸揚金額(事業完了後4ヶ年平均)に漁業所得率と被災後の想定陸揚減少率を乗じて算出する。

便益額計上の震災発生確率の基本的な考え方は、『港湾投資の評価に関する解説書2011』に示す「耐震強化施設整備プロジェクト」に準ずるものとする。

区分			備考
陸揚金額(千円)	①	9,951,000	市場水揚げ記録(令和3年~令和6年平均)
漁業取得率(%)	②	53.3%	令和5年漁業経営調査報告(大臣官房統計部、令和6年9月、農林水産省)及び水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料-(令和7年6月)p6を基に算定
被災後の想定陸揚量(通年比)(%)	③	44.7%	(別紙参照)
被災後の想定減少率(通年比)(%)	④	55.3%	100-③(%)
災害復旧期間(年)	⑤	2.0	
社会的割引率	⑥	1.962	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン(令和7年6月)p37より $\sum \{1/(1+i)^{k-1}\}$ i:社会割引率4% k:災害復旧の経過年数
震災発生確率(t=1)	⑦	0.01133	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料-(令和7年6月)p38より、 $(1/75-1/500) \times (74/75)^{t-1}$ 整備前:レベル1地震動対応岸壁として、再現期間75年 整備後:レベル2地震動対応岸壁として、再現期間500年
供用初年度の年間便益額(千円/年)		65,219	①×②×④×⑥×⑦(t=1)

漁業就業環境の向上

⑤漁業就業者の労働環境改善効果

5-1 静穏度向上による労働環境の改善(館鼻地区)

現在、館鼻地区の-2.0m物揚場を利用している漁業者については、作業スペースが十分でなく狭小なことや施設築造後30年以上経過し、老朽化により上部工に凹凸が数多くみられ、歩行時に転倒や海への転落等の危険性がある。また係船柱及び防舷材も破損しており、係船に支障をきたしている。物揚場の補修によりこうした問題から解消され、安全性・快適性の向上が期待できる。

区分			備考	
作業状況の基準値	整備前	①	1.241	Bランク(令和7年青森県公共工事設計労務単価)(別紙参照)
	整備後	②	1.000	Cランク(令和7年青森県公共工事設計労務単価)(別紙参照)
年間労働日数(日/年)	③	145	調査日:令和7年8月19日 調査場所:八戸みなと漁業協同組合 調査対象者:八戸みなと漁業協同組合職員 調査実施者:青森県 三八農林水産事務所 八戸水産事務所 調査実施方法:ヒアリング調査	
1日あたりの受益者数(人/日)	④	34	漁協ヒアリング	
作業時間(時間/日)	⑤	8	漁協ヒアリング	
労務単価(円/時間) 漁船漁業3t未満-20t未満	⑥	2,365	令和5年漁業経営調査報告(令和6年9月)を基に算定	
年間便益額(千円/年)		22,479	(①-②)×③×④×⑤×⑥/1000	

3. 効果額の算定方法  
地域産業の活性化

(八戸漁港(外郭施設、水域施設、係留施設、輸送施設、漁港施設用地))

⑦漁業外産業への効果

7-1 道路補修による車両通過時間の短縮(館鼻地区)

当該道路は八戸大橋につながる幹線道路であり漁獲物運搬車両や水産加工物の運搬車両及び一般車両を含め、1日平均交通量は20,982台/日(平成17年度八戸港臨港道路交通量調査)となっている。しかし路面の傷みが激しく、通常の走行速度50km/hのところを40km/h程度で走行しており通過車両の速度が低下していた。路面の補修により低下していた車両速度を本来の走行速度に戻すことにより車両通過時間が短縮できる。

区分		備考
通行量(台/日)	① 20,982	平成17年度八戸港臨港道路交通量調査より1日平均交通量の値を準用、公表されている最新のデータを使用
通過時間(時間)	整備前 ② 0.019	770m区間を40km/hで走行した場合、0.77km/40km/h
	整備後 ③ 0.015	770m区間を50km/hで走行した場合、0.77km/50km/h
年間利用日数(日)	④ 365	
実働1日1車当たり輸送人員(人) 自家用貨物車	⑤ 3.89	令和5年度自動車輸送統計年報を基に算定 輸送人員/実働延日車数 =1,447,373,000/372,308,843≒3.89
労務単価(円/時間) 一般利用者	⑥ 1,822	毎月勤労統計調査(地方調査)令和5年度分結果確報(厚生労働省)を基に算定
年間便益額(千円/年)	217,119	①×(②-③)×④×⑤×⑥/1000

非常時・緊急時の対処

⑧生命・財産保全・防御効果

8-1 耐震化岸壁整備による災害復旧費の回避(小中野地区・館鼻地区)

耐震化岸壁は、震災時に損壊を免れることができ、復旧のための追加的な支出を回避できる。よって、当該岸壁(耐震強化)整備による復旧費の回避を便益として計上する。

便益額計上の震災発生確率の基本的な考え方は、『港湾投資の評価に関する解説書2011』に示す「耐震強化施設整備プロジェクト」に準ずるものとする。

区分		備考
築造当時の建設費(千円)	館鼻地区-6.0m岸壁	1,047,818 漁港施設台帳
	小中野地区-5.0m岸壁	668,870 実施工事台帳
現在価値換算建設費(千円)	① 4,241,291	
館鼻地区-6.0m岸壁	3,214,461	建設年：昭和44年、昭和45年、平成6年、平成11年を現在価値化、延長640m S44：191,106千円×6.897=1,318,058千円 S45：131,063千円×6.328=829,367千円 H6：542,466千円×1.530=829,973千円 H11：148,629千円×1.595=237,063千円 合計：=3,214,461千円
	小中野地区-5.0m岸壁	1,026,830
災害復旧期間(年)	② 2.0	
社会的割引率	③ 1.962	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン(令和7年6月)p37より $\sum \{1/(1+i)^{k-1}\}$ i：社会割引率4% k：災害復旧の経過年数
震災発生確率(t=1)	④ 0.01133	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料-(令和7年6月)p38より、 $(1/75-1/500) \times (74/75)^{t-1}$ 整備前：レベル1地震動対応岸壁として、再現期間75年 整備後：レベル2地震動対応岸壁として、再現期間500年
供用初年度の年間便益額(千円/年)	47,155	①/②×③×④(t=1)

3. 効果額の算定方法

(八戸漁港 (流通構造改革支援施設))

水産物の生産性向上

④漁獲物付加価値化の効果

4-1 衛生管理環境の向上による魚価安定化効果 (小中野地区・館鼻地区)

高度な衛生管理が実現できる市場機能に更新することにより、衛生管理と品質の向上が図られ、魚価安定化が期待できる。

区分		備考
陸揚金額 (千円)	①	9,951,000 市場水揚げ記録(令和3年～令和6年平均)
衛生管理効果率 (%)	②	8.0% 流通拠点漁港における衛生管理対策及び効果把握調査(平成27年度、水産庁)より
衛生管理に関する維持管理費 (千円)	③	14,287 衛生管理に関する年間維持管理費の令和3年～令和6年平均実績値
年間便益額 (千円/年)		781,793 ①×②-③

漁業就業環境の向上

⑤漁業就業者の労働環境改善効果

5-2 荷さばき所増築・改修による労働環境の改善 (小中野地区・館鼻地区)

荷さばき所の増築・改修により、作業を安全に行うことが可能となり、労働環境が改善する。

区分		備考
作業状況の基準値	整備前 ①	1,241 Bランク (令和7年青森県公共工事設計労務単価) (別紙参照)
	整備後 ②	1,000 Cランク (令和7年青森県公共工事設計労務単価) (別紙参照)
年間労働日数 (日/年)	③	277 調査日: 令和7年9月11日 調査対象者: 八戸市農林水産部 水産事務所 調査実施者: 青森県 三八農林水産事務所 八戸水産事務所 調査実施方法: ヒアリング調査
1日あたりの受益者数 (人/日)	④	48 ヒアリング*
作業時間 (時間/日)	⑤	8 ヒアリング*
労務単価 (円/時間) 一般利用者	⑫	1,822 毎月勤労統計調査(地方調査)令和5年度分結果確報(厚生労働省)を基に算定
年間便益額 (千円/年)		46,706 (①-②)×③×④×⑤×⑥/1000

## 漁業就業者の労働環境改善効果における労働環境評価チェックシート

## 【八戸漁港】 便益5-1 静穏度向上による労働環境の改善

評価指標		ポイント	チェック		根拠(評価の目安)	評価の根拠
			整備前	整備後		
危険性	事故等の発生頻度	a. 作業中の事故や病気等が頻発している	3		ほぼ毎年のように事故や病気が発生	【整備前】作業スペースが狭小なことや施設の老朽化による上部工の凹凸により、歩行時の転倒や海への転落の事故の恐れがある。 【整備後】物揚場の整備により、十分な作業スペースが確保され、陸揚及び準備作業時に事故が発生する可能性はごく小さくなる。
		b. 過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2		直近5年程度での発生がある	
		c. 過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○		
		d. 事故等が発生する危険性は低い	0		○	
	事故等の内容	a. 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3		海中への転落、漁港施設内での交通事故等	【整備前】作業スペースが狭小なことや施設の老朽化による上部工の凹凸により、歩行時の転倒や海への転落の事故の恐れがある。 【整備後】物揚場の整備により、十分な作業スペースが確保され、陸揚及び準備作業時に事故が発生する可能性はごく小さくなる。
		b. 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2		転倒、資材の下敷き、落下物の危険等	
		c. 通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1	○	軽い打撲等	
		d. 事故等が発生する危険性は低い	0		○	
危険性 小計		0~6	--	--		
作業環境	a. 極めて過酷な作業環境である	5		酷寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等		
	b. 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3		風雨、波浪の飛沫等		
	c. 風雨等の影響を受ける場合がある	1	○	○		
	d. 当該地域における標準的な作業環境である	0				
重労働性	a. 肉体的負担が極めて大きい作業	5		人力での漁船上下架、潮位差の大きい陸揚等	【整備前】港内静穏度が港外の波浪や越波の影響を受けやすく、波浪の大きい出漁日には、漁船の動揺や岸壁接触の衝撃が生ずる中での陸揚げ作業となり、踏ん張ったりすることから、肉体的負担が比較的大きい。 【整備後】外郭施設の整備により、港内静穏度が向上し、漁船の動揺や岸壁接触の衝撃が生ずる中での陸揚げ作業が少なくなり、重労働性は解消される。	
	b. 肉体的負担が比較的大きい作業	3	○	長時間の同じ姿勢での作業等		
	c. 肉体的負担がある作業	1		○		
	d. 通常の作業と同等程度の肉体的負担	0				
評価ポイント計		0~16	6	2		
作業状況ランク		A~C	B	C		

Aランクの条件： 評価ポイント計16~13ポイント ※必ず「事故の発生頻度」、「事故等の内容」の両方の指標でポイントが上げられていること。

Bランクの条件： 評価ポイント計12~6ポイント

Cランクの条件： 評価ポイント計5~0ポイント

### 漁業就業者の労働環境改善効果における労働環境評価チェックシート

【八戸漁港】 便益5-2 荷さばき所増築・改修による労働環境の改善

評価指標		ポイント	チェック		根拠(評価の目安)	評価の根拠	
			整備前	整備後			
危険性	事故等の発生頻度	a. 作業中の事故や病気等が頻発している	3		ほぼ毎年のように事故や病気が発生	【整備前】荷さばき所内が狭く作業動線が輻輳しており各種作業を行う人と運搬車両との交通事故の危険性が高い状況にあった。また、老朽化により床面に凹凸が生じており人の転倒や車両の操作性への影響が懸念されていた。 【整備後】荷さばき所の増築・改修により、十分なスペースが確保され、人と車両の作業動線が分離されるため事故が発生する可能性はごく小さくなる。	
		b. 過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2		直近5年程度での発生がある		
		c. 過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○			
		d. 事故等が発生する危険性は低い	0		○		
	事故等の内容	a. 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3	○		海中への転落、漁港施設内での交通事故等	【整備前】荷さばき所内が狭く作業動線が輻輳しており各種作業を行う人と運搬車両との交通事故の危険性が高い状況にあった。また、老朽化により床面に凹凸が生じており人の転倒や車両の操作性への影響が懸念されていた。 【整備後】荷さばき所の増築・改修により、十分なスペースが確保され、人と車両の作業動線が分離されるため事故が発生する可能性はごく小さくなる。
		b. 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2			転倒、資材の下敷き、落下物の危険等	
		c. 通院不要で数日で完治するようごく軽いケガ	1			軽い打撲等	
		d. 事故等が発生する危険性は低い	0		○		
危険性 小計		0~6	--	--			
作業環境	a. 極めて過酷な作業環境である	5			酷寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等	【整備前】荷さばき所の老朽化により、場所によって雨漏りや隙間風による影響を受けていた。 【整備後】荷さばき所の改修により、雨風の影響を受けることはない。	
	b. 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3			風雨、波浪の飛沫等		
	c. 風雨等の影響を受ける場合がある	1	○				
	d. 当該地域における標準的な作業環境である	0		○			
重労働性	a. 肉体的負担が極めて大きい作業	5			人力での漁船上下架、潮位差の大きい陸揚等	【整備前】荷さばき所の老朽化により、床面に凹凸が生じており、台車を用いた運搬作業に支障が生じていた。また、雨風の影響を防ぐためのシート掛け等の作業を行っていた。 【整備後】荷さばき所の改修により、運搬作業の支障が解消される。また、シート掛け等の作業が不要になることから肉体的負担が軽減する。	
	b. 肉体的負担が比較的大きい作業	3			長時間の同じ姿勢での作業等		
	c. 肉体的負担がある作業	1	○				
	d. 通常の作業と同等程度の肉体的負担	0		○			
評価ポイント 計		0~16	6	0			
作業状況 ランク		A~C	B	C			

Aランクの条件 : 評価ポイント計16~13ポイント ※必ず「事故の発生頻度」、「事故等の内容」の両方の指標でポイントが上げられていること。

Bランクの条件 : 評価ポイント計12~6ポイント

Cランクの条件 : 評価ポイント計5~0ポイント